



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

95.9.7 No. 4255

勝浦運転区廃止 — 「12月ダイヤ改」で — 外房線スピードアップを断じて許すな!

動労総連合申第12号

— 「12月ダイヤ改」阻止闘争に起とう! —

1 12月および3月ダイヤ改時に、全社的に、どのような基地統廃合計画が予定されているのか、明らかにされたい。

ダイヤ改正は作業体制の変更を伴うことから、この時期に合わせ効率化を行い、輸送コストの低減に努めることとしているが、具体的には当該の地方機関において策定することとなる。

2 12月「ダイヤ改正」に合わせて、勝浦運転区および安房鴨川車掌支区を廃止して、鴨川運輸区を新設する計画が提案されているが、次の点に鑑み、この計画を中止されたい。

- (1) 外房線の列車設定は勝浦駅までが中心であり、更に今次の一部複線計画からも勝浦までが重点となっている。
従って、乗務員運用にも基地を安房鴨川に移すことは非効率となる。
- (2) 地元勝浦住民は、勝浦運転区の存続を強く求めている。
(24,000名市民中、13,000名以上の者が署名している。)

運輸区設置については、列車運行に関する業務の一元化を図るとともに効率的な業務執行体制を確立し、車掌、運転士相互の業務について理解を深められることなどから、これまでも進めてきたところである。
なお、具体的な計画については当該の地方機関で策定することとなる。

3 7年度「ダイヤ改正」について、12月および3月と2回に亘って「ダイヤ改正」を実施する目的は何か。
また、在来線について12ダイヤ改で、1,500キロ削減、3月ダイヤ改で1,300キロ増となっているが、その内容について明らかにされたい。

平成7年度ダイヤ改正は、車両、設備の落成時期によりスケジュールが分かれることから、平成7年12月に新幹線のダイヤ改正を中心として行い、平成8年3月に埼京線恵比寿延伸、八高(南)線電化等、首都圏の輸送改善を中心としたダイヤ改正を行うこととした。
また、列車設定キロの増減については、12月改正では内外房線、常磐線の「通勤快速」増発、利用状況の良くない列車の見直し等、3月改正では埼京線恵比寿延伸、八高(南)線電化開業、利用状況の良くない列車の見直し等である。

4 外房線の到達時分短縮を目的に、最高速度120km/h化と曲線速度15km/hアップを提案しているが、安全対策について具体的に明らかにされたい。

最高速度向上に伴い、軌道強化、ATS警報位置及び踏切警報開始点の変更等を行っている。また、乗務員に対し必要な教育・訓練を実施するほか、曲線通過の速度制限標識についても整備する考えである。

5 総武・横須賀線にE217系150両の投入により、現在の限定運用を解消するとしているが、そのための安全対策の具体的な内容を明らかにされたい。

踏切の軽量車両対策については、踏切制御子の目形化など必要な線区について行っている。

6 「京葉線の快速体系を抜本的に改善する。」としているが、具体的に明らかにされたい。

12月改正より葛西臨海公園と海浜幕張の2駅に追越設備が新設されることから、既存の追越設備と合わせて特急列車や快速列車の到達時分の短縮を図るものである。

基地統廃合は、 地方機関で策定

鴨川運輸区は効 率的な執行体制

要員采配につい て明らかにせず

「12月ダイヤ改」で 本社団交(9/5)

九月五日、JR東日本から八月一日に提案された「一二月ダイヤ改」について、「動労総連合申第一二号」に基づき、本社団交を行なった。
団交は、基地統廃合問題をはじめとする六項目の要求に対し会社側から考え方が出されたが①基地の統廃合は、地方機関の判断に基づき実施される。
②基地統廃合による要員配置は適材適所で行われる。
③ローカル列車の廃止は、輸送力と輸送費の隔離をなくする。限られた資源の中で、利用度によって列車設定を行っている。などと、地方での策定を口実に具体的な回答はさけた。
主な交渉経過は次のとおりである。

（組）全社的に、どのような基地統廃合計画が予定されているのか。
（会）ダイヤ改正は、作業体制の変更を伴うことから、この時期に合わせて効率化を行い輸送コストの低減に努める。具体的には当該の地方機関で策定する。
（組）本社は、経営の根幹に関わる基地問題について関与しないのか。
（会）地方機関の判断で実施するものであるが、現在、仙台と盛岡で検討していると聞いている。

（会）効率的な業務執行体制と「車掌・運転士」相互の業務について理解を深めることである。
（組）鴨川運輸区新設は、外房線の列車設定が勝浦までが中心であり、非効率となる。
（会）千葉支社からは効率的な業務執行体制となると聞いている。

（組）鴨川運輸区の要員は「東労組の組合員で運営する」と言われている。また東京からの転勤者の名前が上がっている。東京から転勤があるのか？
（会）異動については、自己申告書に基づき希望等は、把握している。結果として支社間の異動もあろう。
（組）この間のダイヤ改毎にローカル列車が廃止され、通勤通学に大きく支障し、不便を強いている。
（会）列車設定は、限られた資源の中で設定してあり、輸送量と輸送力の均衡をはかるようにしている。
他にスピードアップに対する安全対策、勝浦運転区の存続について多くの市民が求めている。地方における誠実団交などを申し入れ、団交を終了した。